

臨床研究へのご協力をお願い

母乳哺育による GDM 既往女性の産褥耐糖能異常の発症予防効果に関する研究

当院周産期センターでは上記の臨床研究を行なっています。本研究は、妊娠糖尿病と診断された妊婦さんを対象としています。妊娠糖尿病と診断された女性は、妊娠中に血糖値が正常だった女性の7倍を超える糖尿病発症危険率があります。そのためお産後に血糖検査を定期的に行なうことはとても重要です。最近、母乳哺育がお産後の糖尿病発症を予防する効果があるという研究があり、世界的に注目されています。しかし、本当に予防効果があるのか、どれくらいの期間母乳哺育を続ければ効果があるのか、などよくわかりません。そこで当院では、妊娠糖尿病と診断された妊婦さんを対象に、母乳哺育の本当の効果を明らかにするための臨床研究を行なっています。研究は、通常の保険診療および自費診療の範囲内で行なった種々の検査結果等の臨床データを診療録から収集して行う研究です。これにより患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。

また研究に利用する情報は個人情報と切り離して、個人が特定されない形で、厳重に取り扱います。

皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究の対象となる方で、臨床データの研究への利用を希望されない方は下記の連絡先にご連絡ください。なお、研究への協力をされない場合も、ご本人が本院で受けられる診療への不利益等の影響は一切ありません。

連絡先：〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家 513

国立病院機構東広島医療センター

研究責任医師：産婦人科 部長 田中 教文

電話番号：082-423-2176 (代表)

研究代表医師

〒856-8562 長崎県大村市久原二丁目 1001-1 国立病院機構長崎医療センター

産婦人科部長 安日一郎、産婦人科医長 山下 洋

☎ 0957-52-3221 (代表)